

平成 30 年度第 1 回学校給食センター運営委員会議事録

日時：平成 30 年 6 月 22 日（金）

9 時 3 0 分～1 2 時 0 0 分

場所：学校給食センター会議室

1. 開会

2. あいさつ

（教育長）

おはようございます。先日の報道で、食育白書 2017 年度版が公表され、その内容のうち、1 日 3 度の食事をすべて一人で摂る「孤食」と呼ばれる状態にある子どもが増えているという結果が出ていました。小中学生の生活、学力状況調査においても、一人で摂っていることがうかがえるような子どもがいます。夜は親御さんも仕事で帰りが遅かったり、本人も塾や習い事で帰りが遅かったりして一緒ではない。そして朝は夜更かししていたので食べない。そうすると、自分以外の誰かと食べているのは給食だけになってしまいます。

給食センターの職員は、献立会議などで職員や保護者の意見を受け止めながら、1 年間安全安心でおいしい給食づくりに努めているわけですが、学校で友達と一緒に食べることでおいしいものが更においしくなるという効果はあるのではないかと思います。

家でもできるだけ、少なくとも土日や休みの日くらいは子ども一緒に食べてほしいなと思います。元教師としては、やはり食というものはとても大事だと思っています。昔からの教育方針に智徳体というものがありますが、それに加えて食ということが大事だということで、前回の指導要領では食を項目に挙げました。公が作る給食というものは教育の位置づけ上、極めて大事なものとなります。ぜひ、いろいろな連携をいただいて、もっともっと給食が充実するよう努めて参りたいと思いますので、委員の皆様には意見をよろしく願います。お世話になります。

3. 自己紹介

委員及び事務局自己紹介

4. 正副委員長の選任について（資料 1・2）

委員長あいさつ

（委員長）

あらためましてこんにちは。こういった役職については不慣れなもので、もしかすると委員の皆様にもいろいろとご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、皆様のご協力によって 1 年間、意義のある会議にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5. 議 題

議題 1. 「平成 29 年度学校給食費会計報告及び保護者への通知について」(資料 3)

事務局より内容説明

(事務局)

先程報告にもありました通り、給食費会計がひっ迫している現状ですが、もう少し踏み込んだご説明をさせていただきます。

資料にもありますとおり、平成 29 年度がスタートした時点での繰越額が小学校分で 213 万円、中学校でおよそ 100 万円でしたが、年度終了時点での残額はそれぞれ 10 分の 1 ほどにまで減ってしまっています。去年は天候不順が続き、特に青果物が非常に高騰いたしました。そうしたなかで、今年は何とかしのげた、というのが正直なところであります。

原油価格は上昇を続け、近々消費税の話も出てくるのではないかと見越す中では、給食費の設定額を見直さざるを得ない時期に来たのかなという思いであります。保護者様等からのご意見もいただきつつ給食費の見直しに関して検討してまいります所存ですので、委員の皆様におかれましてはお気に留めておいていただけますと幸いです。

(委員長)

委員の皆様も、繰越金の減少は気になったところかと思えます。年度の途中で給食費を上げるということは難しいことですので、残高を気にしながら上手に調整されて何とか赤字にならずに 29 年度を終えることができたのではないかと思います。

事務局からもありました通り、消費税が 10%に上がることが決定しているわけですが、これに向けて給食費の金額を見直さざるを得ない状況に来ているのかと思えます。今年度来年度あたりの収支も注目をしながら、委員の皆様も含めた形で、給食費について突っ込んだ議論というものが必要になるのかなと思えます。

議題 2. 「学校給食センター主要事業報告について」(資料 4)

事務局より内容説明

(事務局)

報告書にもございましたが、薬剤師による設備及び食器類等の検査を実施しております。デンプン等、食器に残留物がないかといった検査をしていただいています。センターにおいて洗浄業務は徹底していますが、ときに洗浄不足のご指摘をいただくこともございます。その際はきちんと再洗浄を行う、洗浄方法を工夫するなどの対応をしております。

もう一点付け加えをいたします。いわゆる異物混入についてのご報告になります。今年度学校現場にて異物ではないかとお問い合わせをいただいたもの、またはセンターでの調理中に発見し異物として取り除いたものについてご報告いたします。

都合7件、うち4件が給食センターにて発見されて調理過程で取り除かれたもの、残りの3件が学校で発見されたものになります。異物と言いますと、ともすれば金属片のような危険なものもありますが、幸いにしてそのようなものは現時点では発生しておりません。

報告例を挙げますと、学校で発見されたもので、ツナサラダの中のツナに赤い管のようなものが入っているというものがありません。納入業者に調査を依頼したところ、マグロの血管だったとのことでした。似たような案件で、センターで調理中に鶏肉から赤いものが発見されたのですが、こちらは血合いの固まりでした。これらに関しましては、納入業者に改めて除去の徹底をお願いしたところでもあります。

また、こちらでもセンターで調理中に発見し取り除いたものですが、ほうれん草の中に植物片のようなものが入っていました。こちらでも調べましたところ、その畑でほうれん草より前に育てていた作物の葉ということでした。こちらでは調理過程で取り除きましたが、納入業者には一層の確認をお願いいたしました。

主食類について、以前より同じ報告が続いていますが、麺の中に黒い点のようなものが入っているものがありました。確認しますと、製麺機に用いられる食用の機械油が練りこまれてしまうということでした。これにつきましては製造工程での除去および検品の徹底を再度依頼しました。また、ごはんには黒い粒が付いているというものもありましたが、こちらは米ぬかが焦げたものであるということでした。

こういった点について保護者の皆様も気にされているところかと思えます。一方で学校の先生方にも気にしていただいて、また、センターでの調理中も十分に気を付けて、引き続き安全な給食を提供していきたいと思えますのでご理解を頂ければと思います。

(委員長)

ご質問等ありますでしょうか。

(委員)

献立会議についてお聞きします。PTAの会議は年10回ありますが給食担当の先生の会議は年何回あるのでしょうか。また、なぜ別に行っているのでしょうか。

(事務局)

給食担当の献立会議は、一か月前に決めた方が予定しやすいということで、その場で翌月の会議の日程を決めています。PTAの会議は5月から始まりますが、給食担当の会議は4月から始まりますので、年11回になります。

(委員)

保護者と先生の時間が合えば、一緒にやったほうが有意義な会議になるのではないかと
思うのですが。

(事務局)

給食担当の先生は通常の業務もあり、子どもたちを見送った後に会議をしたいということ
で 16 時から開始しています。保護者の方と時間を合わせるのは難しいかもしれませんが、
こういったご意見があったということはお伝えします。

(委員)

教育委員会の試食は年に何回あるのでしょうか。

(事務局)

定例の教育委員会議の際、午後に教育委員の皆さんが現場把握のために各学校を巡回す
る日があります。そういう日に試食をしています。小中学校合せて5校ありますので、この
分で年5回になります。この他にも、午後に引き続き会議を行う場合がありますので、その
際も試食を実施しています。

(委員)

各学校で残されてくる給食の量はどのくらいあるのでしょうか。

(事務局)

月平均を取る形で残量調査を行っています。4月の小学校は 5.3%、中学校が 6.2%でし
た。5月になると小学校が 6.6%、中学校が 6.8%。6月はまだ集計中ですが、小学校は 4.9%、
中学校は 4.5%となっています。

(委員)

残食が減るような取り組みはいかがでしょうか。

(事務局)

残りの多い品目は味を変えてみたり、メニューの組み合わせを変えてみたりしています。

(委員長)

残食については私も気になっています。管理職が安全確認のために子どもたちより先に
その日のメニューを検食するのですが、検食簿にその日の内容を書く際に、今日の味付けや
量が小学生にとって適当かどうかをできるだけ書くようにしています。こうしておくと、セ

ンターに報告をする際に全部見てくださって、次回以降の給食に活かしていただいているので大変ありがたいなと思っています。現場の声をしっかりセンターに届け、そしてセンターは業務に反映させる。こういったサイクルがうまく出来上がっていると思っています。検査をする際は、安全確認だけでなく子どもたちの様子も見ながら伝えていく必要があるかなと思います。

(教育長)

残食、つまり生ごみが減るということはもちろん喜ばしいのですが、食育の観点から、子どもが食べなれているものばかりでなく、たとえ残りが出て食べてみて欲しいというものもあると思います。家庭での食がバランスを欠いているとしたら、公の昼食としてバランスよくメニューを組んだり、または古くから伝わる日本食を体験させたり。残量を減らしつつ、かつそういったものも食べさせたい。栄養教諭の苦労話などを聞かせていただければと思います。

(事務局)

カレーや肉料理などはやはりよく食べてくれるのですが、やはり野菜をメインにしたあえ物や、ひじき、高野豆腐などは残りが多いと思います。だからといって全く出さないということではなくて、やはり食べる経験をさせた方がいいと思いますので、残りが出ると分かったうえで毎月の献立に組み入れています。

議題 3. 「学校給食用物資納入監査について」(資料 5)

事務局より内容説明

(委員長)

監査の書式について、通信簿が小学校から中学校のものに変わったくらいの大きな変化で、だいぶ詳しく記載されるようになったと思います。青果物の評価にCランクが目立つので心配しましたが、凡例の説明でCランクは給食に供するには問題ないものであるということが書いてあるので安心しました。

議題 4. 「学校給食使用食材の産地公表について」(資料 6)

事務局より内容説明

(委員)

二宮町の地場産の野菜はどのくらいの頻度で使われているのですか。

(事務局)

二宮町は特産と言えるものがなく、少ない中ではありますが、6月と7月に玉ねぎを、その他概ね1月に菜の花、秋ごろにはさつま芋も使おうかと思っています。

(事務局)

補足としまして、地場産という言葉の定義ですが、ただいま申し上げたものは、二宮産のもののみを取り上げた形になります。給食全般としてはいわゆる地場のもの、広くとらえれば神奈川県産のものも含められると思いますが、そういったものを積極的に取り入れてもらえるようお願いしているところではあります。

6. その他

(平塚保健福祉事務所食品衛生課長より県内の食中毒発生状況などの説明)

(事務局)

現在の給食センターを建てた際に食器類を一括で更新しているのですが、それから8年目ということで次の更新時期が近いと考えております。今年度、一部の食器の更新を行う予定です。2学期に入ってから子どもたちが使うことになるかと思いますが、小さいお椀から更新いたします。油污れなどが落ちやすい素材のものを導入しようということで入札を行う予定です。夏休みに納品し、準備等すすめて、2学期から運用という形になりますのでお気に留めておいていただければと思います。

(委員)

各学校では子どもたちが食べる前に検食ということをしています。異物がないか等を確認して毎月報告していますが、これがどういう形で活用されているのか教えていただけますでしょうか。

(事務局)

提出していただいた検食簿はすべて確認させていただいて、ご指摘等いただいた事柄についてはセンター内で検討し次の献立に活かせるようにしています。

(委員)

給食試食会と献立会議についてお聞きします。年10回の会議で、保護者の意見を聞いていただいていることは保護者としてとてもありがたいことだと思っておりますが、近年は保護者が出席するための時間を取ることがとても難しい現状になってきています。お休みの比較的取りやすい職場であれば会議に出てこられますが、全員がそう言うわけではありま

せん。年間のスケジュールをあらかじめ決めて会議に出席するということはとても難しいです。引継ぎの段階で、年 10 回の日取りが決まっています、これに行かないといけないと言われるのですが、教育委員会にお聞きしたところ、これは強制ではありません、こういう場を設けているので可能な限り活用してください、ということでした。次年度の役員は、会議の出席を年 5 回にしたいという要望を出したいのですがよろしいでしょうか。

もう一点、献立会議の試食の際、子どもたちと一緒に食事してその様子を伝えてください、とのことですが、具体的にどんなことを見てきてほしいのか保護者に伝わっていません。まして初めて見る給食にどうコメントしていいものか。ある程度アンケートのような形で示してもらえるとやりやすいと思います。

(事務局)

献立会議へのご協力ありがとうございます。献立会議ですが、学校給食の衛生管理基準の中で、保護者の方からのご意見をいただく場を設ける、という項目がありまして、これに基づいて行っています。

10 回参加が難しいという事情はもちろんあるかと思いますが。役員に限らず保護者さんの代表の方に参加していただくなど、PTAの方々に工夫をしていただければと思います。こちらとしては役員の方に指定しているということはありません。中には参加してみたいという方もおられるのではないかと思います。PTAのなかで呼びかけ等はされていますでしょうか。

(委員)

呼びかけ等はしていません。担当の役員の中での話に留まっています。担当役員の意見を基にした活動を行っていきたいと考えています。

(事務局)

献立会議は年 10 回行いたいと考えています。代理の方の参加でも問題ありませんので、PTAの中で話し合い等をしていただければと思います。

試食の際にアンケートのような形式で見たいポイントなどをお示しすることは可能かと思しますので検討させていただきたいと思います。

(委員長)

献立会議は、是非とも活用してもらいたいものであり、必ず出なければならぬ、というものではありません。せっかくの機会なので、役員に限らずみなさんで参加を募ってみてはいかがでしょうか。各学校のPTAごとの運用でよろしいかと思しますので、調整いただければと思います。

12時00分 閉会